



長ネギ

こまめな土寄せで軟白を長く作る



ネギの原産地は中国西部といわれ、中国では2000年以上の歴史があり、日本でも最も古い野菜の一つです。特有の臭気はアリシンで、食欲を増進させる働きがあります。長ネギ(根深ネギ)は土寄せして根元に近い部分を30cm以上に軟白します。

【品種】

「松本一本太ねぎ」「トーホク」、「石倉一本太ねぎ」(トーホク)、甘みとコクある「下仁田ねぎ」(日本農産種苗)も人気があります。

【栽培時期】

春彼岸ころに種をまき、夏に植え付け、晩秋から冬に収穫する春まき栽培が一般的です。

図1 苗作り

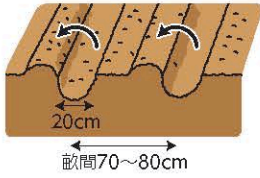


図2 植え付け

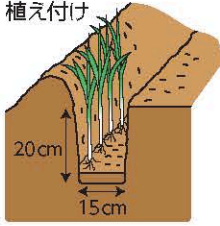


図3 追肥・土寄せ

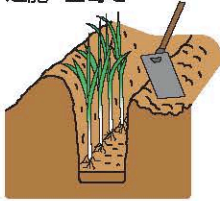
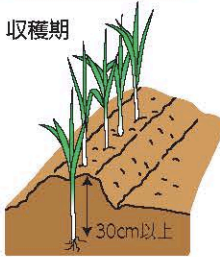


図4 収穫期



【苗作り】

苗床となる場所に前もって、1㎡当たり苦土石灰100gを散布して耕しておきます。次に、畝間70〜80cmとして、くわ幅の浅い溝を作り、ここに溝1m当たり化学肥料(N:P:K=10:10:10)100gと堆肥1kgを施し、溝の土とよく混ぜておきます(図1)。

【管理】

茎葉が繁茂すると倒れやすくなるため、株の両側にひもを張ります。追肥は、種は溝の全面に1〜2cm間隔になるようにばらまきし、覆土は1cm程度にします。芽が出そろったら込み合う部分を間引き、1カ月ごとに溝1m当たり化学肥料20〜30gを

追肥します。30〜40cmくらいに育ったら、苗の完成です。

【植え付け】

春まきでは6〜7月が植え付けの期です。耕した直後では植え溝が壊れるので、平らにならした後、しばらくして溝を掘ります。畝間は90〜100cm、溝は15cm、深さ20cmに掘り下げます。苗は5cm間隔に溝に並べて立て、根元に少し土を掛け、その上にわらや腐葉土を5〜10cmの厚さに入れます。このときには化成肥料は与えません(図2)。

【追肥・土寄せ】

植え付け1カ月目から1カ月ごとに3〜4回畝1m当たり化学肥料を50gまいて土寄せし、軟白部の長さ30cmを目標にします(図3)。

【収穫】

最後の土寄せ後1カ月程度で収穫できます。



彩・菜・栽

2021年
3月